

## 著 作 目 録

- 昭和40年2月 「不法行為上の医師の責任」・高梨公之編・「国家と法の諸問題」学術研究叢書第1巻・新生社
- 昭和42年10月 「改正商法と定款による株式の譲渡制限」・経済構造10月号・経済構造社
- 昭和44年5月 (共) 民法(財産法)・林寿二編・国元書房
- 昭和45年1月 「私的独占禁止法における競争の実質的制限について」・城西経済学会誌第5巻第3号
- 昭和45年1月 「医師の応招義務」・帝京法学第2巻第1号
- 昭和45年9月 「憲法上の公共の福祉と独禁法上の公共の福祉」・城西経済学会誌第6巻第2号
- 昭和46年2月 「不利益取扱Ⅰ—不当労働行為の研究Ⅰ」・城西経済学会誌第6巻第3号
- 昭和46年7月 「不利益取扱Ⅱ—不当労働行為の研究Ⅱ」・城西経済学会誌第7巻第1号
- 昭和48年5月 (共) 清水兼男編・労働法要説・建帛社
- 昭和49年9月 (共) 杉山逸男編・法学入門・高文堂出版社
- 昭和49年11月 (共) 穴田秀男編・口語医事法・自由国民社
- 昭和51年3月 (共) 林寿二編・「東南アジアの労働法についての一考察(フィリピンを中心として)」・武市春男博士古稀記念論文集・産学社
- 昭和51年4月 「眼瞼下垂症失明事件」・医事判例百選(別冊ジュリスト50号)・有斐閣
- 昭和52年3月 「官公労働者の争議権」・城西経済学会誌第12巻1・2・3合併号
- 昭和52年2月～10月  
 メディカル・トリビューン誌に判例研究として掲載・メディカル・トリビューン日本支社 ①患者の非協力により精神検査を実施せず死亡した患者につき医師の責任を否定・2月4日号, ②腎バイオペシーにつき医師の過失を否定・2月17日号, ③造影剤ショックにつき医師の過失を否定・3月3日号, ④眼瞼下垂症につき医師の責任の一部を肯定・4月7日号, ⑤骨接合癒着手術の針金除去が不完全で医師の過失を肯定・6月9日号, ⑥皮膚がんによる下腿切断患者につき医師の責任を肯定・10月13日号
- 昭和53年4月 (共) 杉山逸男編・法学概論・八千代出版
- 昭和53年11月 (共) 穴田秀男編・最新医療関係判例概説・中央法規出版
- 昭和54年3月 (共) 林寿二編・現代の法律学要論・国元書房
- 昭和54年3月 「医療事故における過失と医療水準」・城西経済学会誌第14巻第3号
- 昭和54年10月 (共) 「医療事故の損害賠償責任」・粕谷進編・現代の法律問題・法学書院

- 昭和55年 3月 「学校事故に関する損害賠償責任の諸問題」・城西大学経済経営紀要第 3 巻第 1 号
- 昭和56年 4月 (共) 小野幸二編・債権総論・各論・八千代出版
- 昭和57年 3月 (共) 新稿民法(財産法)・国元書房
- 昭和57年 8月 「Legal Precedents in Malpractice cases concerning RLF among Premature infants in Japan」. Prof. Dr. Dierkens 編・第 6 回世界医事法会議報告集
- 昭和57年10月 (共) 穴田秀男編・医療法律用語事典・中央法規出版
- 昭和58年 3月 (共) 中川淳編集代表・判例事典・六法出版社
- 昭和58年 3月 (共) 杉山逸男編・法学概論・八千代出版
- 昭和58年 4月 (共) 中村敏昭・石田雅男編・医療事故—その動向と判例解説・キョーワ出版部
- 昭和59年 4月 (共) 法学・辛夷社
- 昭和60年 8月 「Information medicale et Consentement du malade」・Prof. Dr. R. Dierkens 編・第 7 回世界医事法会議報告集
- 昭和61年 6月 (共) 穴田秀男編・最新医事法学・金原出版
- 昭和62年12月 「自己決定権をめぐる〔Ⅰ〕信仰による輸血拒否と自己決定権(1)」・城西大学経済経営紀要第 8 巻第 2 号
- 昭和64年 1月 「自己決定権をめぐる〔Ⅱ〕信仰による輸血拒否と自己決定権(2)」・城西大学経済経営紀要第 9 巻第 1 号
- 昭和64年 6月 「交通事故治療後のガスえそ事件」・医療過誤判例百選(別冊ジュリスト 102 号)・有斐閣
- 平成 7 年 7 月 (共) 「日本学説及民事裁判例之医師的説明義務與患者的同意・医療紛争與法律」・文笙書房
- 平成12年 3月 「医療事故に関する判例研究」・城西大学経済経営紀要第 18 巻第 1 号
- 平成12年 3月 「民事判例における医師の説明義務と患者の同意」・城西経済学会誌第 28 巻 1 号
- 平成13年 3月 「判例からみた柔道整復と医業類似行為」・城西大学経済経営紀要第 19 巻第 1 号